

小平市地域包括ケア推進計画（素案）に対する
市民意見公募（パブリックコメント）の結果について

1 実施の概要

実施期間	令和5年11月18日（土） ～ 令和5年12月17日（日）	
意見提出者数	3人	
提出方法	持参	2人
	郵送	0人
	市ホームページ	0人
	電子メール	1人
	FAX	0人

2 ご意見に対する対応状況

反映状況	件数
反映済み	0件
反映する	0件
反映しない	0件
参考意見	5件
合計	5件

※市民意見公募（パブリックコメント）の結果の公表にあたっては、とりまとめの都合上、
いただいたご意見を一部要約する等の整理をしています。

3 市民意見公募（パブリックコメント）に対する考え方

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方	対応
1	高齢者館（さわやか館）は立地が悪いためのなのか、午前中の利用が特に悪い。コミュニティバスのルートを増設していただき高齢者の足となれば利用が増えるのではないかと思う。	コミュニティバス及びコミュニティタクシーの運行は、自治会や商店会等の地域の代表者で構成する協議会等において、乗車状況や地域ニーズを把握しながら、必要に応じて運行ルートや停留所の見直しについて検討しております。 いただいたご意見につきましては、協議会等へ情報提供いたします。	参考意見
2	「地域包括支援センター（高齢者あんしん相談窓口）」ではなく、「高齢者あんしん相談窓口（地域包括支援センター）」としたほうが相談できる場所であることが分かりやすい。	地域包括支援センターは高齢者に関する相談だけでなく、介護予防やケアマネジメント、地域ケア会議などの事業を実施しており、地域包括ケアシステム構築の役割を担っていることから、本計画における表記の変更はいたしません。地域包括支援センターが高齢者に関する相談窓口として認知されるよう、リーフレットの全戸配布等を行うとともに、引き続き、介護している家族や地域の団体に向け、活動内容を周知し、認知度を高めるよう努めます。	参考意見
3	市報等にさわやか館祭りの活動報告等を載せ、広く市民に周知すると良い。高齢者館を市民に知ってもらい、利用してもらって初めてこの施設が活きると思う。子ども広場の小さいお子さんの活気をもらえるこの高齢者館は素敵な場所であるから、有効活用すべきだと思う。	高齢者館（ほのぼの館・さわやか館）が気軽に交流でき、くつろぎ、語らうことのできる施設であることを周知し、多くの方に利用してもらえよう、引き続き広報していきます。	参考意見
4	高齢者の知識、ノウハウを若い世代に引き継ぐ仕組み作りを望みます。例えば農業。経験が活きる作物造りの知識が継承されないと食料の自給体制が維持できません。 貴重な知識を活かす体制を作ってください。	「こだいら人財の森」事業では知識や経験などを役立てたい人と人材を求めている団体をマッチングする事業を実施しています。引き続き、高齢者が持つ多様な経験が活かされるよう推進していきます。	参考意見
5	高齢化はますます進み、高齢者世帯やひとり高齢者世帯が増える。安心できる住まいの確保施策の方向が示されてない。シルバーピアやサービス付き高齢者向け住宅の整備だけでなく、居住支援に力を注ぐよう、福祉部局だけでなく地域振興部、都市開発・都市建設担当部署と連携し、民間含めた居住支援協議会を作り、取り組む必要がある。（住まいと生活支援はセット、公共交通見直し、コミュニティづくり）	住み慣れた地域に居住を希望する高齢者に対し、高齢者居住支援事業として、住まい探しの相談や住まい等に関する情報提供のほか、高齢者家賃保証料助成事業では保証人のいない高齢者への支援を行っています。 また、居住支援協議会の設置については、研究してまいります。	参考意見